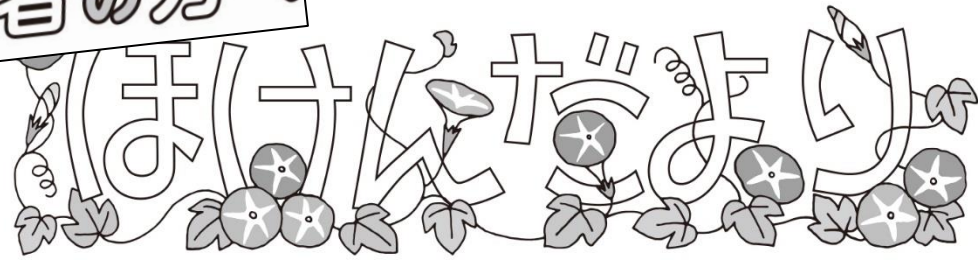


保護者の方へ

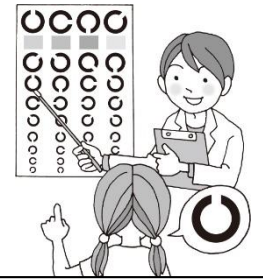


1学期に行った健康診断で気になった歯科検診と視力検査の結果について保護者の皆様にお知らせいたします。

問診票の記入や病院受診などご協力ありがとうございます。

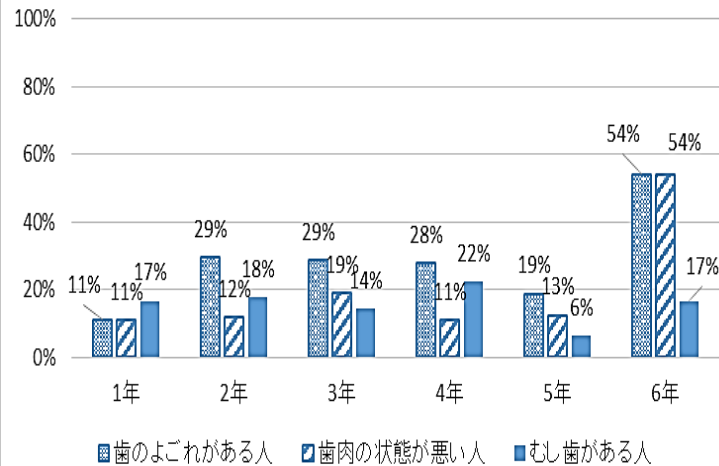


令和4年7月12日
呉市立警固屋小学校
No.8 保健室・長濱



歯科検診のようす

歯科検診のようす



警固屋小学校 114人の歯科検診の様子

歯のよごれがある人 34人 (30%)
歯肉の状態が悪い人 25人 (22%)
むし歯がある人 18人 (16%)



歯科検診の結果、むし歯がある児童は18人と昨年度(27人)より減少しました。しかし、歯の汚れ(歯垢)が付いている児童や歯肉の状態が悪い児童は、まだまだいるという結果でした。

歯垢や歯ぐきの状態が悪いとむし歯や歯肉炎などにつながります。今は子どもでも歯肉炎などの歯ぐきの病気にかかるといわれています。歯垢をとりむし歯や歯肉炎を防ぐためには、丁寧な歯みがきが必要です。

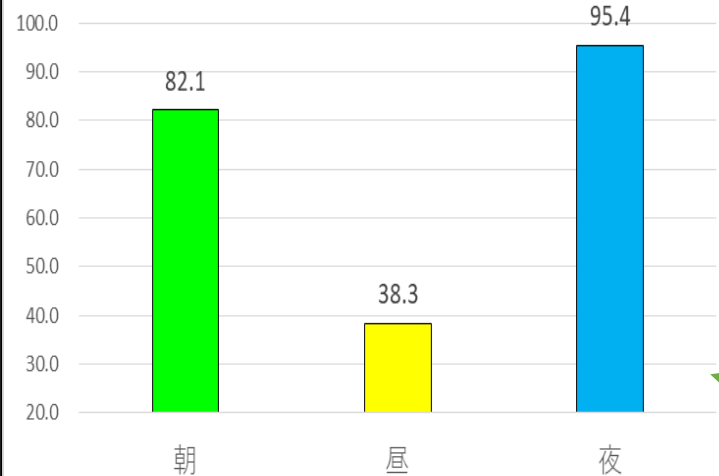
6月に行った生活アンケートの結果、朝と休日の昼の歯みがきに課題がみられました。今は新型コロナウイルス感染症対策のため学校での昼の歯みがきを中止しており、朝食後に歯をみがかないと夜まで歯をみがかないことになってしまいます。

歯は一生もので換えがききません。歯と口の健康を守るために「定期的な歯科受診」と「食後の歯みがき」を続けていただければと思います。

警固屋小学校の歯みがきの様子

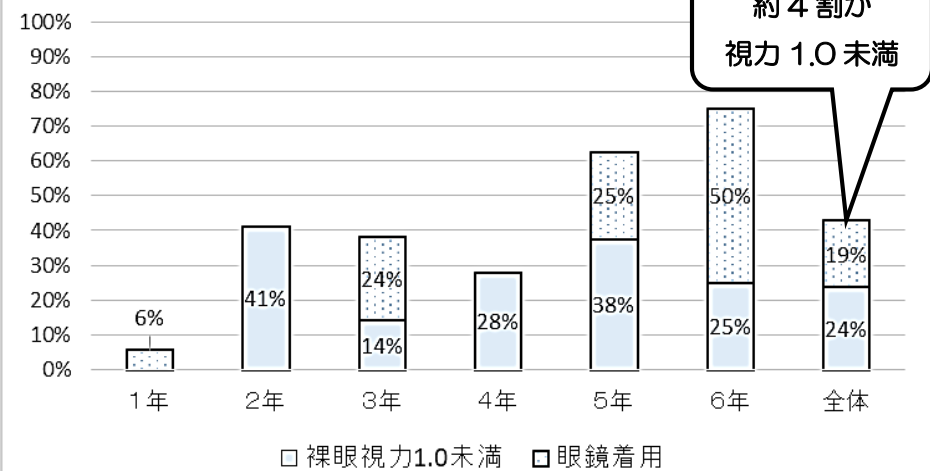
朝の歯みがきをしていない人 1日あたり約19人
昼の歯みがきをしていない人 1日あたり約6人
夜の歯みがきをしていない人 1日あたり約5人

食後の歯みがき(全体%)



視力検査のようす

視力1.0未満の児童の割合



約4割が
視力1.0未満

視力検査の結果、裸眼視力1.0未満で受診勧告をした児童は、27人(約24%)でした。眼鏡着用者(22人)を合わせると49人(約43%)の児童が裸眼視力1.0未満という結果になりました。

文科省が行っている学校保健統計によると、裸眼視力1.0未満の児童の割合は、平成23年度29.9%⇒令和2年度37.5%と年々増加しています。校種別にみると幼稚園27.9%、小学生37.5%、中学生58.2%、高校生63.1%と年齢が上がるにつれて、視力が悪い人の割合が増えてきています。

視力は、遺伝や体質等も関係ありますが、最近ではゲームやスマートフォンなどが普及し近距離で長時間ものを見ることが増えた生活習慣が、視力の低下につながっているとみられています。

視力の低下を防ぐための「画面と距離をとる」「休憩を挟みながら画面を見る」「画面を見る時間を決める」などの目を大切にする意識や行動が、小学生の内から習慣化されることが大切になってきます。